

事業者向け放課後等デイサービス評価表

放課後等デイサービス えーる

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・1, 2階にプレイルーム、個室があり、個々の利用者の状態によって使用方法を変えている。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	○			・職員配置数については、個別の対応が出来るよう多めに配置をしている。 ・外部研修、施設内研修を通して専門性を高めている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・玄関・階段・1階トイレに手すりが設置されている。 ・部屋の仕切り等に段差があり、改善が必要。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・施設内研修を行っている。 ・外部研修に参加している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・保護者との面談、毎月全職員で支援会議を行い、個別支援計画書を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			

	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・季節の行事、外出計画など利用者が楽しく過ごせるよう配慮している。 ・担当職員が当番制になっていて偏らない工夫をしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・個々の課題に沿って、一日楽しく過ごせるよう細やかな配慮がある。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・朝礼、昼礼を行い当日の予定、申し送り等打合せをしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		・職員同士が気軽に話ができるよう配慮している。 ・支援終了後に、勤務職員全員が各利用者の記録を記入し、共有できるようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・当日出勤職員全員で記録を記載し、改善点などを支援会議にて話し合いをしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		○		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
関係機	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
関	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		・面談時に担当 Dr. を確認し、個別支援計画書に、病院名を記載している。
や保	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
護者との連						

携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②4	学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・保護者に個別支援計画書やモニタリングシートを次の事業所へ情報提供するよう伝えている。
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・外出で児童館を活用させてもらっている。
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・困難事例として情報提供をし、研修に参加した。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共有理解を持っているか	○			・毎日の状況を丁寧に伝えている。連絡ノートでも保護者から日々の家庭での状態をお知らせ頂いている。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			
	③0	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に行っている。変更があればその都度通達し説明をしている。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・ホームページが完成したので、会員専用のページを作成し、活動などの情報を発信していく。
	③5	個人情報に十分注意しているか	○			
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・町内行事等に参加している。

	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・緊急対応は周知されている。 防犯・感染症は再度必要だと思う。 ・マニュアルは作成してあるが全てを保護者には周知しきれていない。
非常時等の対応	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・最近の災害を見ると頻繁に行うことが必要。 ・地域の防災訓練等に参加している。
	㉒	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・研修会に参加し、施設内研修で全職員に伝えている。
	㉓	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・今まで計画に記載はなかったが、保護者には十分に説明をし、了承を頂いている。 ・以前は身体拘束が必要な子どももいた為、決定事項はしっかり確認していくようにする。
	㉔	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・保護者より定期的に情報を頂き、対応をしている。
	㉕	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて。その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目標を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。